



待ちに待った夏休みがやってきた！



今年は何に異常気象とも言える連日の猛暑の中、頑張って通学してきた子どもたちにとって大きな希望となっていた夏休みが、とうとうやってきました！

夏休みが近づいてくるにつれ「家族で沖縄に行くねん！」「この夏に遊びに行くのが楽しみー」など、羨ましい話がちらほらと聞かえてくる一方で「夏休みの宿題多すぎて今から病むわ…」「と、早くもべったりしている声も少なからず…。

そんな子どもたちにとって、早くも夏を満喫できるようにこの時期ならではの取り組みの様子を紹介したいと思います。



一つの事業所では「涼しさを感じるのにはまずは見た目から」ということで、おやつに寒天を使ったひんやりデザート「セタゼリー」をみんなで作りしました。
カルピスやかき氷用のブルーハワイのシロップを

用いて、分量はスタッフで調整しましたが、「器に液体を入れる」「ゼリーに砂糖菓子をトッピングして盛り付ける」作業は子どもたちで行ってもらいました。

冷蔵庫で冷やしている間は待ちきれない様子で「まだ固まってないん？」「あと何分で食べれるん？」などの質問がひっきりなしにありましたが、色鮮やかで見た目がとっても可愛いゼリーを目の当たりにすると、「わあ、星空みたいー」「可愛すぎて食べるのがもったいない」と、みんなの目がうっとりするほどの出来栄で、ただ空腹と甘い匂いには勝てず、目の前に置かれたゼリーは、皆すぐに「へろり」と間食していました。



また夏に欠かせない遊びとして「水遊び」がありますが、今年も川遊びやプール遊びを最大限に楽しめました。

例年川遊びを行っている事業所では、子どもたちから「もっと大きくて綺麗な川で遊んでみたい」と

2025年7月

の要望が多くあった事もあり、今年は何歌山県橋本市にある川を目指して出発しました。

目的地に近づくとつね眼下に広がる大きな川を前に、「すごい大きいー！」「早く泳ぎたい!!」と、胸の高鳴りを抑えきれません。



初めて川遊びを体験する児童もいましたが、恐る恐る川に足を入れてみると…「冷たい！」「気持ちいい！」と、すぐに緊張も解けた様子で、お友達と一緒に水の掛け合いを楽しんだり、泳いでいる魚や沢蟹を必死に捕まえようとするなど、すぐに川遊びの虜になっていました。

普段学校生活を120%の力で頑張っている児童にとっては、透明度の高い水に触れ、流れる水の音を聞きながら過ごすことで、心身ともにリフレッシュすることができたのではないかなと、子どもたちの様子を見て感じる事ができました。